



郷土のあしあと 第3回

魚粕製造のときの煮沸用の釜 鯨にしんがま釜

魚粕製造のときの煮沸用の釜（既製品を輸入）。粕炊釜・油釜等、使用目的別に呼称されることもある。また、漁夫の入浴にも利用されることもあり、これを「釜風呂」と呼んだ。

鯨が大量に獲れた時代には、主として鯨を魚粕に炊き上げたが、釜で四十分ほど煮てから「搾胴」へ移し、魚油を搾り分けてから蒸へ広げて干す。鯨の加工品には乾燥しなければならぬ物が多く、広い干場を必要とした。背後に広場のない海岸では作業工程や操業時間を斟酌するが、積丹半島に見られる「袋澗」などは、こうした事情（作業時間の確保）に関した遺構である。

往時の加工品といえば身欠き、魚粕、数の子であったが、鯨漁の末期には、食糧難から次第に鮮魚の扱いを受けるようになる。食生活が変貌し、嗜好品の変化から燻製も作るようになった。現在では輸入鯨を原料に、昔ながらの数の子の他に各種珍味加工品が出回っている。

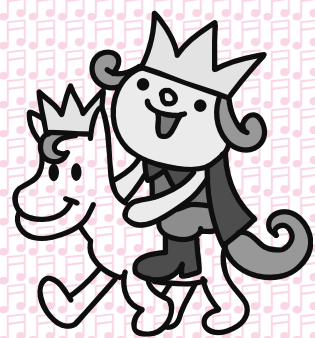
著者 高橋明雄氏「失われた郡来の記録」より抜粋

- ※搾胴 釜で煮た鯨を搾る機械
- ※斟酌 条件などを考え合わせ取捨選択すること
- ※袋澗 小袋に分けた鯨の臨時貯蔵施設
- ※遺構 古い建造物でその一部が残っているもの



▲浜頓別町豊浜で鯨漁が盛んな時に使用された鯨釜

発表会・学芸会・学校祭ガンバリました！



▲ 11 / 17 幼稚園発表会



▲ 10 / 27 宇曾丹小学校学芸会



▲ 10 / 27 浜頓別中学校学校祭

感動的な発表だわ！





かなえ
藤原 加苗ちゃん
平成 14年 3月 25日 生まれ
父～宏さん
母～友美さん
住所～頓別

両親から～いらっしやい。これからよろしく。
一緒に大きくなろうね。



たかひろ
国塚 宇宙ちゃん
平成 14年 2月 6日 生まれ
父～勉さん
母～マリア・テレサ・オリザーさん
住所～茂字津内

両親から～これからもいっぱい食べて、いっ
ぱい遊んで、元気に強く優しい子に育って
ください。



父から～結婚はしないで一生面倒みてく
ださい。最愛の父より
母から～兄（樹希也）のように明るく優しい子
になってね。やんちゃな子にはならないでね。
いつまでも笑顔のかわいい樹音ちゃんていて
ね。



じゅね
中田 樹音ちゃん
平成 14年 3月 31日 生まれ
父～忍さん
母～美佳さん
住所～北4条2丁目

父から～もりもりご飯を食べて、元気に
育ってね。
母から～環が我が家にやってきてから、母さ
んは、うれしくて楽しくて毎日がほっこりで
す。これからは一緒に大きくなろうね。

たまき
佐藤 環ちゃん
平成 14年 3月 26日 生まれ
父～純一さん
母～一美さん
住所～北4条3丁目



浜中
園原 知美



私の将来の夢は、
飼育係になる事
です。動物が好きで、
動物とふれあえる
ことができる飼育
係になりたいです。

浜中
門脇 正



僕の将来の夢は、
今はまだ決めて
いません。とりあ
えず今はそれな
りに勉強を頑張
ってゆっくり考
えていきたい
と思います。

中学2年生の夢

瞳

(敬称略)

浜中
三浦 豪気



僕のドリームは、
大人になってゲ
ームを作って、世
界の子どもを喜
ばせたいです。そ
のためにも、ゲ
ームを勉強し
ます。

浜中
佐々木利崇



僕の将来の夢は、
小説家になって
お金を貯めて、
お金の苦勞しな
いようになりた
いです。そのた
めには面白い
小説を書きたい
です。

浜中
網淵 裕隆



僕の将来の夢は、
まだ決めていま
せんが、今は一
生懸命勉強して
いきたいと思
います。